

東北地方 1か月予報

(8月16日から9月15日までの天候見通し)

平成15年8月15日
仙台管区気象台発表

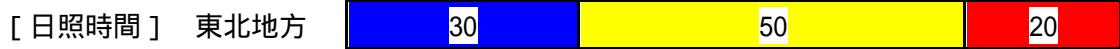
<特に注意を要する事項>

東北地方は、ここ数日低温や日照不足が続きますので、農作物の管理等には十分注意して下さい。その後は太平洋高気圧に覆われて概ね晴れる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。
期間の初めは前線やオホーツク海高気圧の影響で曇りや雨となり、気温が低いでしょう。
その後は、天気は概ね周期的に変わるでしょう。
向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。
週別の気温は、1週目は平年並か低い、2週目は平年並、3～4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月16日(土)～9月15日(月)
1週目 : 8月16日(土)～8月22日(金)
2週目 : 8月23日(土)～8月29日(金)
3～4週目 : 8月30日(土)～9月12日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は8月22日
3か月予報:8月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	21.6	229.1	134.8	23.0	22.4	21.0
新庄	22.0	170.1	145.0	23.9	23.1	21.2
若松	23.0	134.7	166.6	24.8	24.1	22.2
深浦	21.5	178.6	170.8	23.1	22.4	20.8
青森	21.4	138.6	174.8	22.9	22.2	20.7
むつ	20.2	171.6	142.0	21.5	21.0	19.6
八戸	20.9	177.7	153.0	22.2	21.6	20.3
秋田	22.7	198.2	180.5	24.6	23.7	21.9
盛岡	21.3	188.0	136.6	23.2	22.3	20.4
宮古	20.9	214.0	139.7	22.2	21.7	20.2
酒田	23.2	199.7	182.5	25.0	24.1	22.4
山形	22.7	153.2	157.1	24.6	23.8	21.9
仙台	22.7	201.1	133.1	24.0	23.5	22.1
石巻	22.2	152.3	153.0	23.5	23.0	21.6
福島	23.5	161.9	134.2	25.1	24.5	22.8
白河	21.8	247.3	133.1	23.2	22.7	21.1
小名浜	23.2	171.4	168.5	24.1	23.9	22.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	81~118	92~107
東北日本海側	-0.4~+0.6	83~110	91~107
東北太平洋側	-0.3~+0.4	77~120	89~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.8	-0.6~+0.7	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.6~+0.8	-0.6~+0.7	-0.6~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.9	-0.5~+0.8	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年8月15日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(8月16日~9月15日) :

期間の初めは前線やオホーツク海高気圧の影響で曇りや雨となり、気温が低いでしょう。その後は、天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(8月16日~8月22日) :

期間の前半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の降る日が多いですが、後半は太平洋高気圧に覆われて概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2週目(8月23日~8月29日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(8月30日~9月12日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、高気圧に覆われて残暑の厳しい日もあるでしょう。

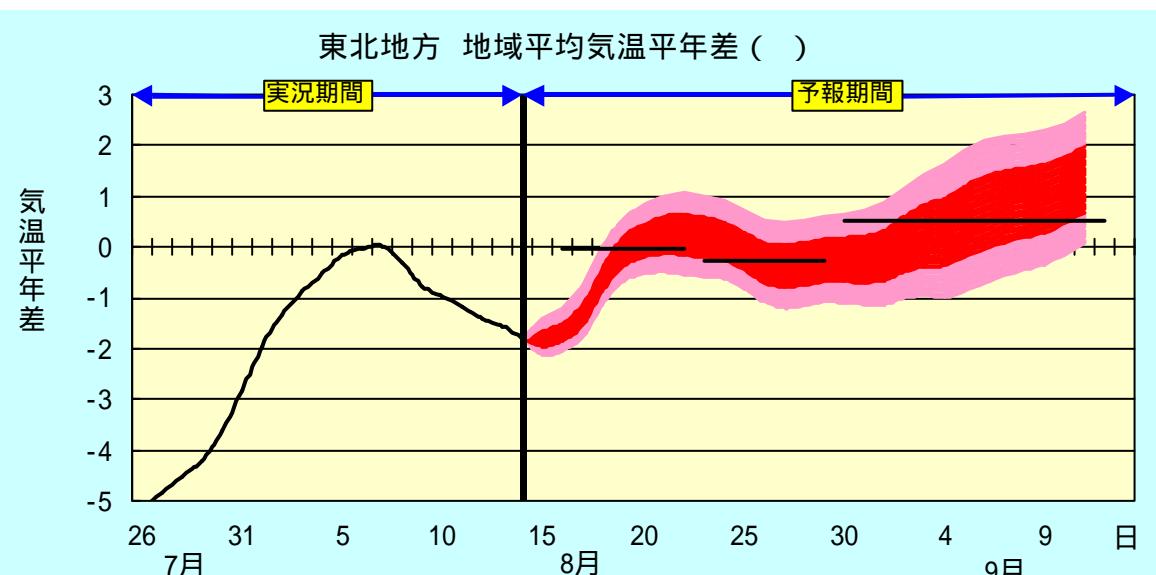
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.8日	4.0日	3.9日	6.9日
東北太平洋側	12.7日	3.4日	3.5日	5.8日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「平年並か低い」、3~4週目を「平年並か高い」に変更する他は数値予報通りとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

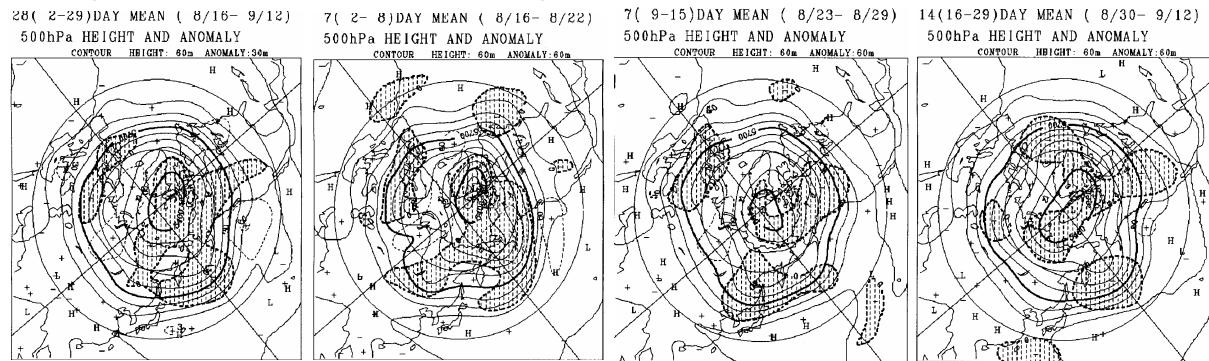


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、太平洋高気圧が日本の南部を覆う。オホーツク海は負偏差となるが、日本付近は弱い西谷で、広く正偏差に覆われる。

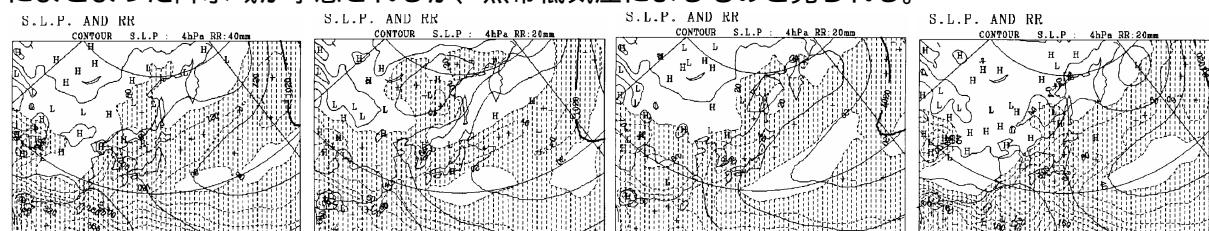
週別に見ると、1週目は、太平洋高気圧が西に張り出し、北日本まで正偏差となる。また、オホーツク海付近も正偏差となる。2週目は太平洋高気圧は日本の東海上で強く、日本付近は西谷となる。3~4週目は、日本付近は西谷。南西諸島付近とオホーツク海から東の海域には負偏差が広がる。太平洋高気圧は日本の南で強まる。



地上気圧と降水量：

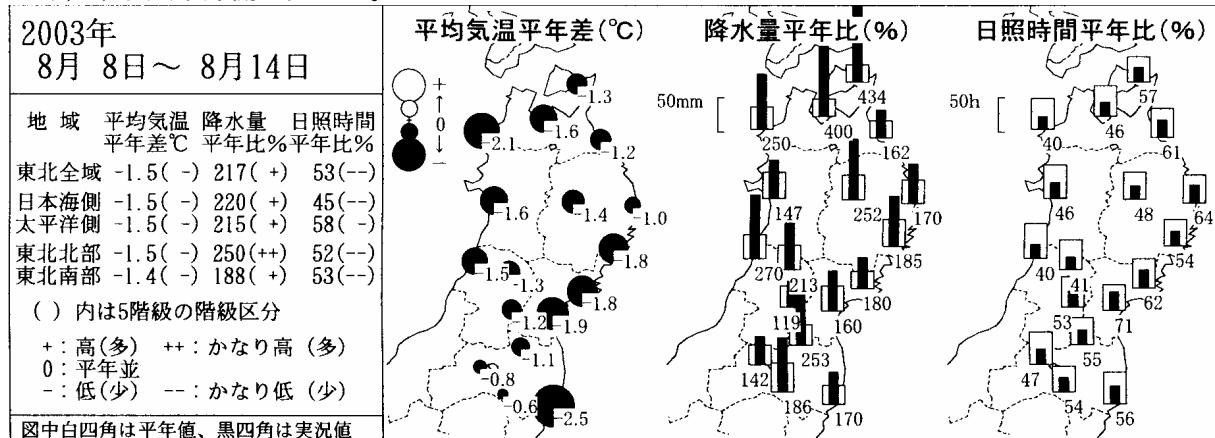
月平均では、太平洋高気圧が西に張り出しが、日本付近には降水域が広がる。

週別に見ると、1週目の日本付近はオホーツク海高気圧と南の太平洋高気圧の間に入り降水域が予想される。2週目はオホーツク海付近の高気圧が弱まり、太平洋高気圧が日本の南海上に張り出す。日本海には降水域が広がる。3~4週目は、太平洋高気圧がやや東に後退する。本州の南にまとまった降水域が予想されるが、熱帯低気圧によるものと見られる。



4. 最近1週間（8月8日～8月14日）の天候の経過

この期間は、8日に台風第10号が四国に上陸した後本州を縦断して北上し、東北地方でも9日には風雨が強まった。10日と13日は高気圧に覆われて一時的に晴れた。その他の日は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多く気温も低くなった。なお、11日に梅雨の時期に関する東北地方気象情報を発表し、東北北部については、今年の梅雨明けの発表を行わないことにした。平均気温は低い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）